

組織の概要 (企業用)

会社名 有限会社オダタ

所在地	〒781 4211 高知県香美郡香北町葎生野 2 8 3 - 1 TEL: 0 8 8 7 5 - 9 - 4 5 1 1 FAX: 0 8 8 7 - 5 7 - 1 4 5 3 E-mail: organic@odata.cc		
ホームページ	http://www.odata.cc		
設立年月	H . 1 年 6 月		
代表者	小田々豊	担当者	小田々豊
資本金	5 6 0 0 万円	従業員数	2 名
沿革	H . 1 代表他 3 名が自営農業を合併する形で有限会社オダタ設立 生姜柚子など有機農産物を主力とする		
事業概要	有機栽培の柚子オクラ小夏など		
環境に関する活動実績	有機農業の実践 代表による環境オンブズマンの設立など		

売上高 (15 年度) 7 0 0 万円

政策のテーマ

鳥獣害対象生物の生育域コントロールによる共生

政策の分野

- ・カラスなどの生育域コントロールによる共生
- ・

政策の手段

レーザーによる対象鳥獣の威嚇での生育域制限

団体名：有限会社オダタ

担当者名：小田々豊

政策の目的

鳥獣害に関する生物の生育域の制限により、その被害が発生しない区域を確実に確保すること

- ・カラスによるゴミへの問題、鳩の糞害
- ・農作物等の鳥獣害被害の削減
- ・鳥インフルエンザ等の拡散の制御

背景および現状の問題点

下記の問題に対して現在何ら対処方法がないか、個々の住民による一時的な対処療法により徒労のような作業が繰り返されている。しかし動物には学習能力があり、対処療法は永く続かず結果的に甲コストである。あるいは住民の高齢化などのためや労力気力の維持向上は難しく、逆に動物はその勢力圏を増やす傾向にある。

- ・カラスによるゴミへの問題、鳩の糞害
- ・農作物等の鳥獣害被害の削減
- ・鳥インフルエンザ等の拡散の制御

政策の概要

下記のシステムを開発し、ノウハウを蓄積し、普及を諮る。

監視カメラで防除対象空間を監察し、そこに登録された害鳥獣が進入すると、それをコンピュータが画像処理で認識し、その害鳥獣の眼にレーザーを照射、威嚇、対象空間からの退出を促す。

開発された個々の機器のランニングコストは携帯電話の管理費程度になる。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

1. 関係技術を持つ企業団体の発掘。
 - ・ レーザー技術
 - ・ サーボモニター
 - ・ 画像処理
 - ・ 対象生物の行動特性のデータ化
 - ・ 通信ネットワーク
2. 既存技術の実施上の問題点把握
3. 試作器の作成
4. サンプル地域による実証試験
5. 問題点整理（機器はネットワーク型・独立型あるいは両方のどれがよいか）
6. システム政策会社公募
7. 普及促進

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

全体の調整 有限会社オダタ

政策の実施により期待される効果

以下各々について、

- ・ カラスによるゴミへの問題、鳩の糞害

レーザーの到達範囲と画像解析精度の範囲内の空間は完全に対象鳥獣を排除できる。空間単位で管理できるため、都市部が連続する空間では広範囲に生育域を狭めることができ、カラスや鳩の絶対量を減らすことができる。

- ・ 農作物等の鳥獣害被害の削減

上記システムと同様の方法論の他に 管理範囲の狭さ、地上生物、レーザーを遮るものの多さ等によるコスト問題の克服が成されれば、人と対象鳥獣との棲み分けができる。

- ・ 鳥インフルエンザ等の拡散の制御

対象ウイルス蔓延地域を包囲するようにシステムを設置すれば、ウイルスの拡散は防げる。また、カラス等の通常的な広域的移動を制限するようにシステムを設置すれば、蔓延前のウイルスの拡散は防げる。

その他・特記事項

過疎過密による都市化と農山村の衰退は個別の住民が努力するだけでは解決できない壊れてしまった鳥獣との共生関係を突きつけてくる。

このシステムは既存技術を有機的に繋ぐだけ新しい共生関係の構築に寄与するものとする。

この程度のものが何故オンラインだけで提出できないかが疑問です。

電子自治体に反することではないでしょうか？

忙しい身としては印刷して郵送することには非常に抵抗があります。

封筒代や切手代もかかります。

それらは同時に資源の浪費でもあります。

そちらとしても紙にあるものをまた他のものに入力し直すという手間がかかるのではないのでしょうか？

環境省事業としては政策の一貫性に欠けるのではないですか？

人手不足の電話対応はできません。連絡は主にメールでお願いします。